

令和7年度 一般社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 各研究班精度管理調査結果報告

細胞検査  
前田祐吾 (下呂温泉病院)



# はじめに

- ・細胞検査における精度管理調査は、日々のスクリーニング作業において誤判定を起こさないよう、自施設の判定基準が他施設と十分な同一性を保持しているか確認することを目的としている
- ・今年度の精度管理調査も例年通りフォトサーベイを実施した
- ・参加施設数 22施設

## 方法ならびに評価設定

- 各設問2枚の顕微鏡写真を掲示し「その他」を含む5つの選択肢から最も適当と思われるものを1つ選んで回答する
  - 評価A～Dを設定
- 正解:評価A  
許容正解:評価B  
不正解(良悪の判定一致):評価C  
不正解(良悪の判定不一致):評価D
- 評価対象:正解率8割以上であった10問全てが評価対象

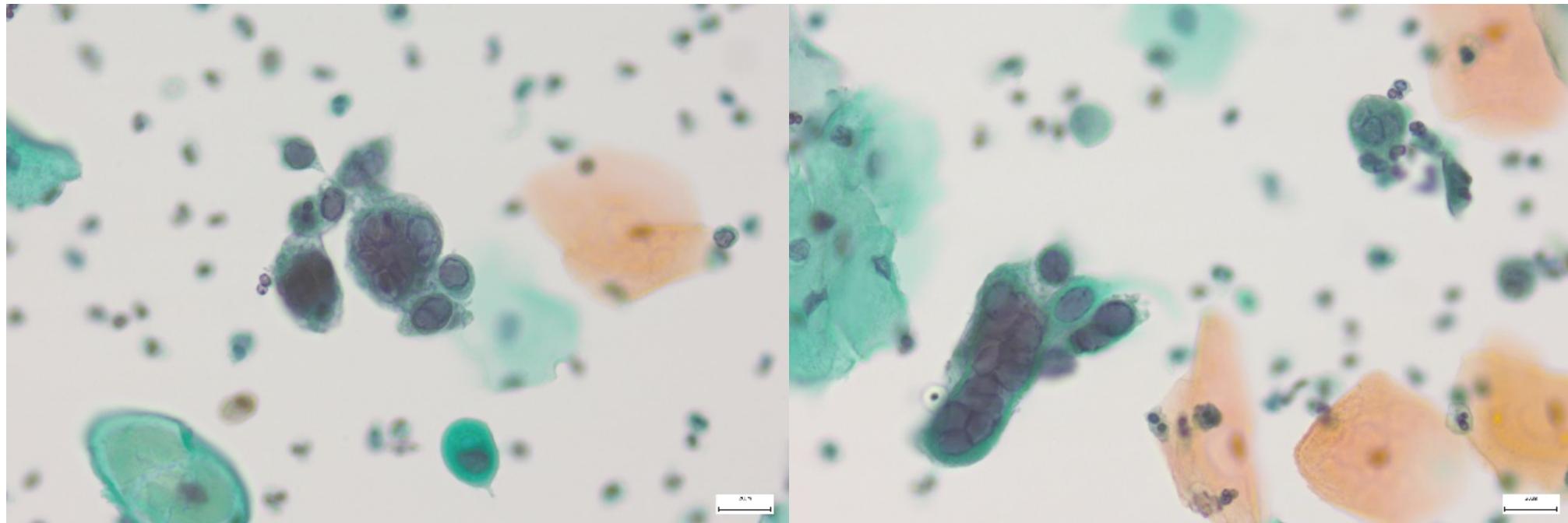
# 設問1

年齢・性別 : 40歳代 女性

検体 : 子宮頸部擦過(サイトブラシ)

臨床所見 : 小陰唇を中心に皮膚びらん～潰瘍あり

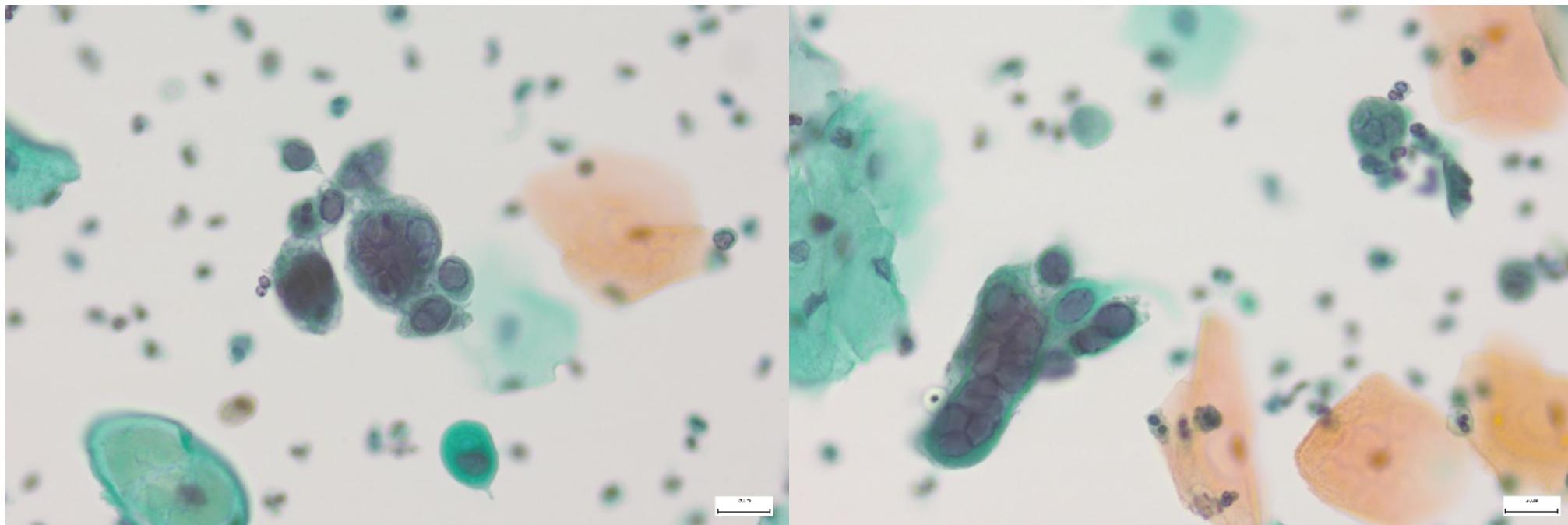
写真 : 1-1 Pap ×40 1-2 Pap ×40



# 設問1

1. クラミジア感染細胞 2. ヘルペス感染細胞 3. HSIL: 上皮内癌 4. 修復細胞 5. その他

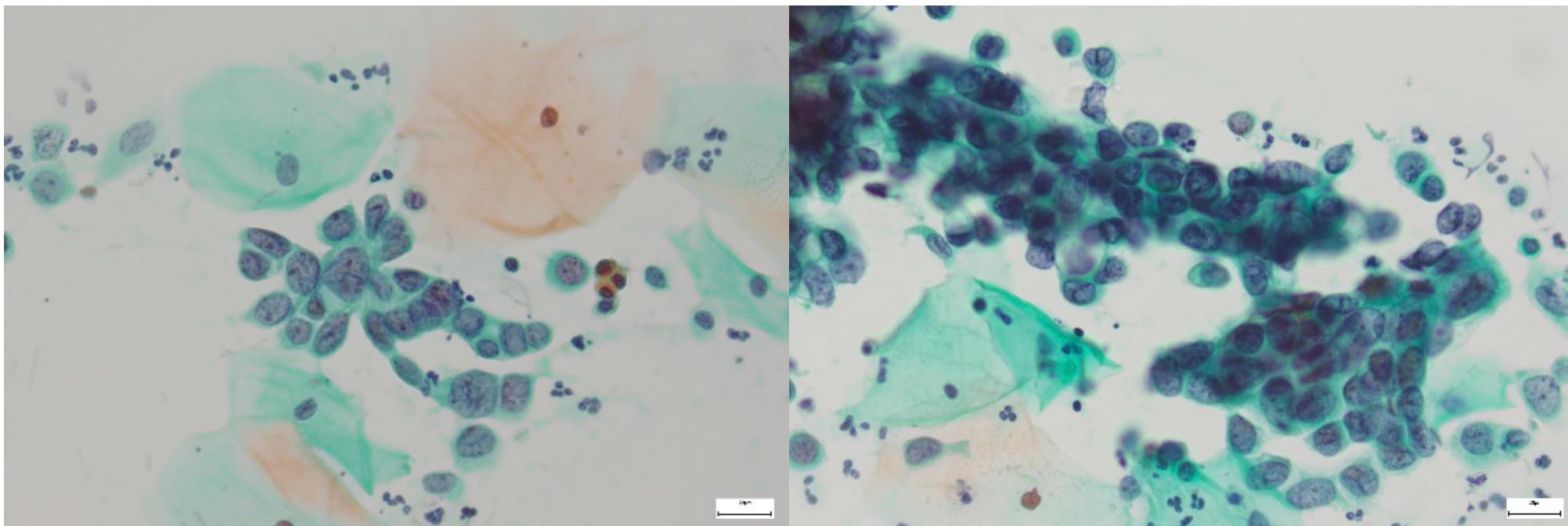
正解率: 100% (22/22施設)



すりガラス状の核クロマチンと相互圧排型の多核

## 設問2

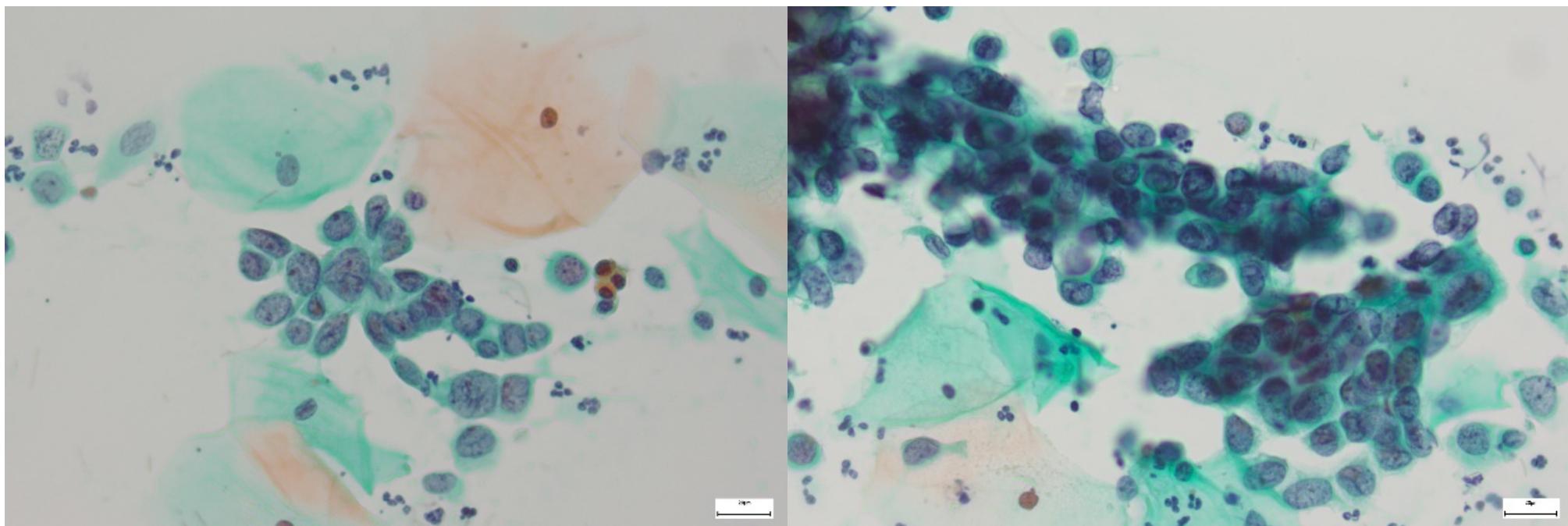
年齢・性別 : 60歳代 女性  
検体 : 子宮頸部擦過(サイトブラシ)  
臨床所見 : 子宮頸がん検診異常  
写真 : 2-1 Pap ×40 2-2 Pap ×40



## 設問2

1. NILM:扁平上皮化生細胞
2. LSIL:軽度異形成
3. HSIL:上皮内癌
4. SCC:扁平上皮癌
5. その他

3. HSIL:上皮内癌  
正解率:100%(22/22施設)



背景きれい  
核クロマチンは密に充满  
傍基底型扁平上皮細胞のNC比は80%越え  
細胞質は狭小、核は緊満感がある

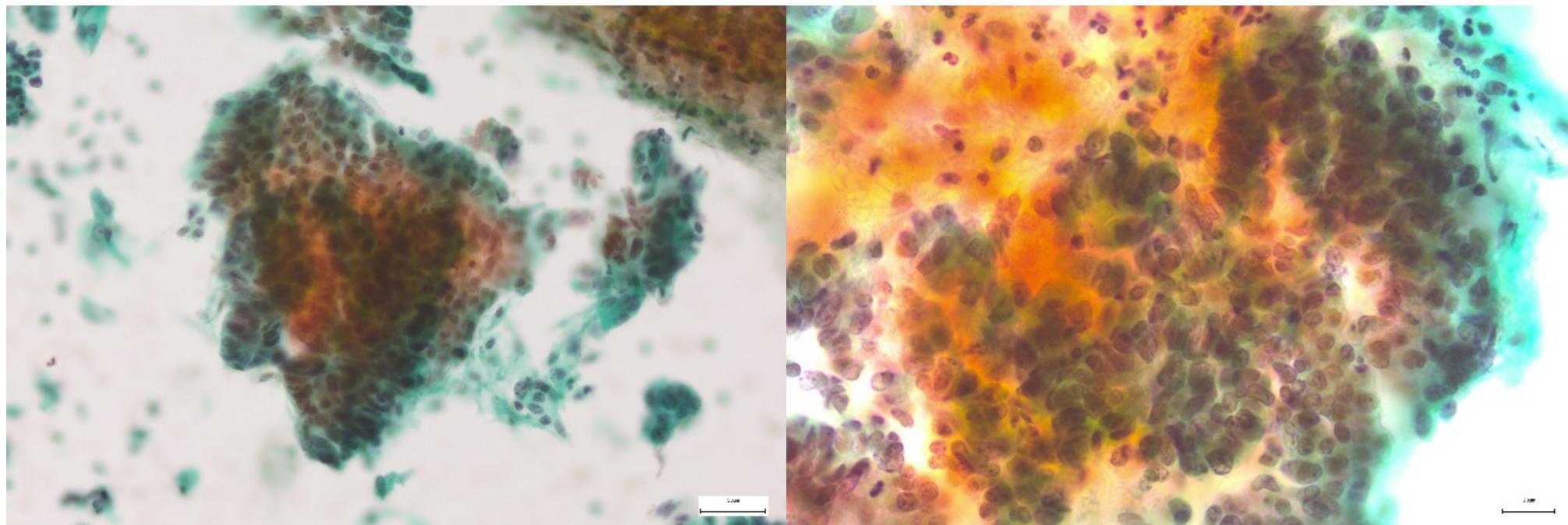
## 設問3

年齢・性別 : 60歳代 女性

検体 : LBC子宮体部擦過(エンドサイト)

臨床所見 : 不正出血持続

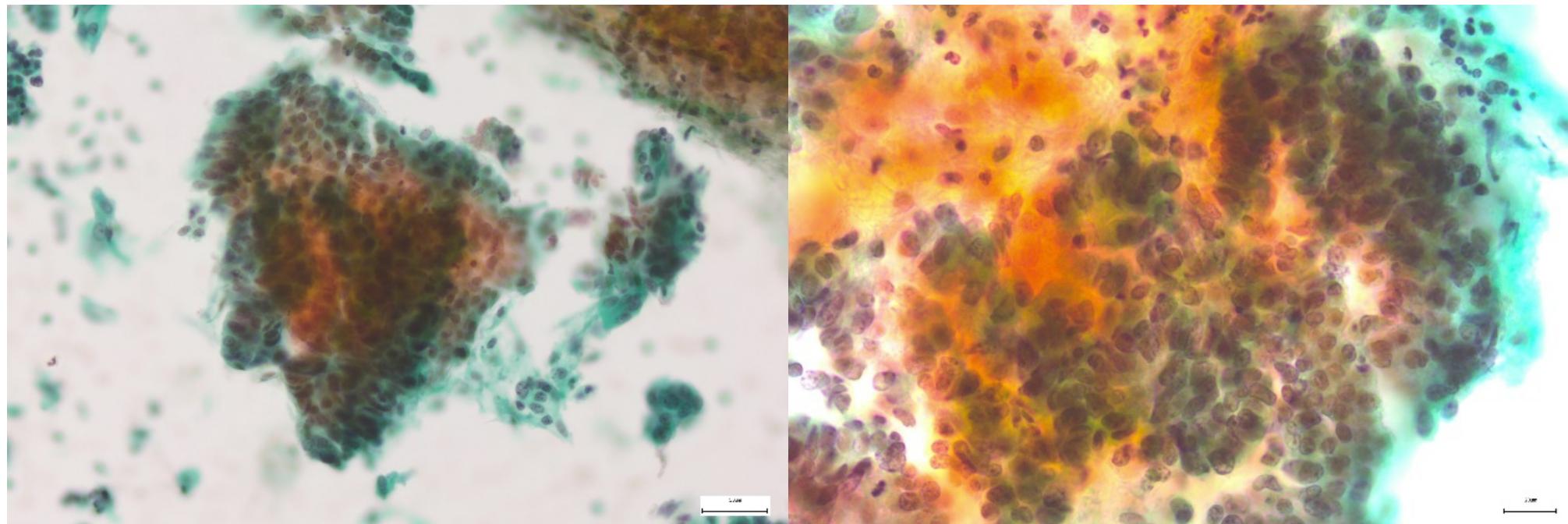
写真 : 3-1 Pap ×20 3-2 Pap ×40



### 設問3

1. 増殖期子宮内膜細胞
2. 単純型子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌
4. 悪性リンパ腫
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



ほつれを伴う腺上皮細胞の重積集塊  
集塊に間質細胞は認めない  
核異型細胞が腺腔を形成

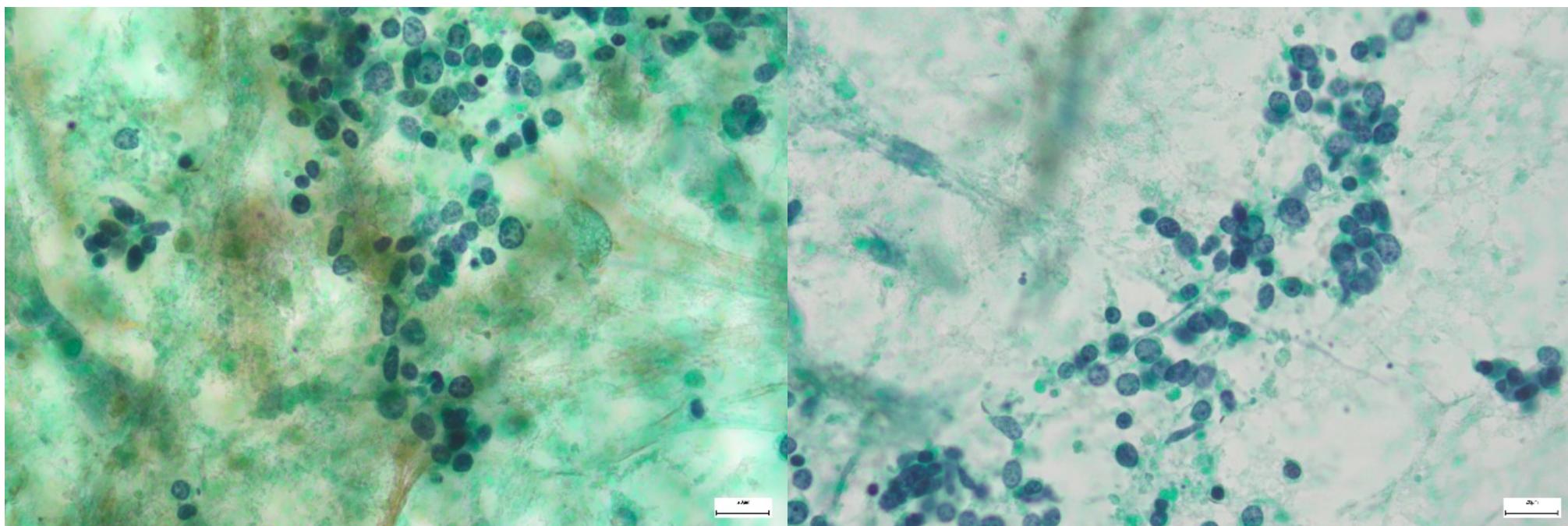
## 設問4

年齢・性別 : 70歳代 男性

検体 : TBB

臨床所見 : 肺腫瘍

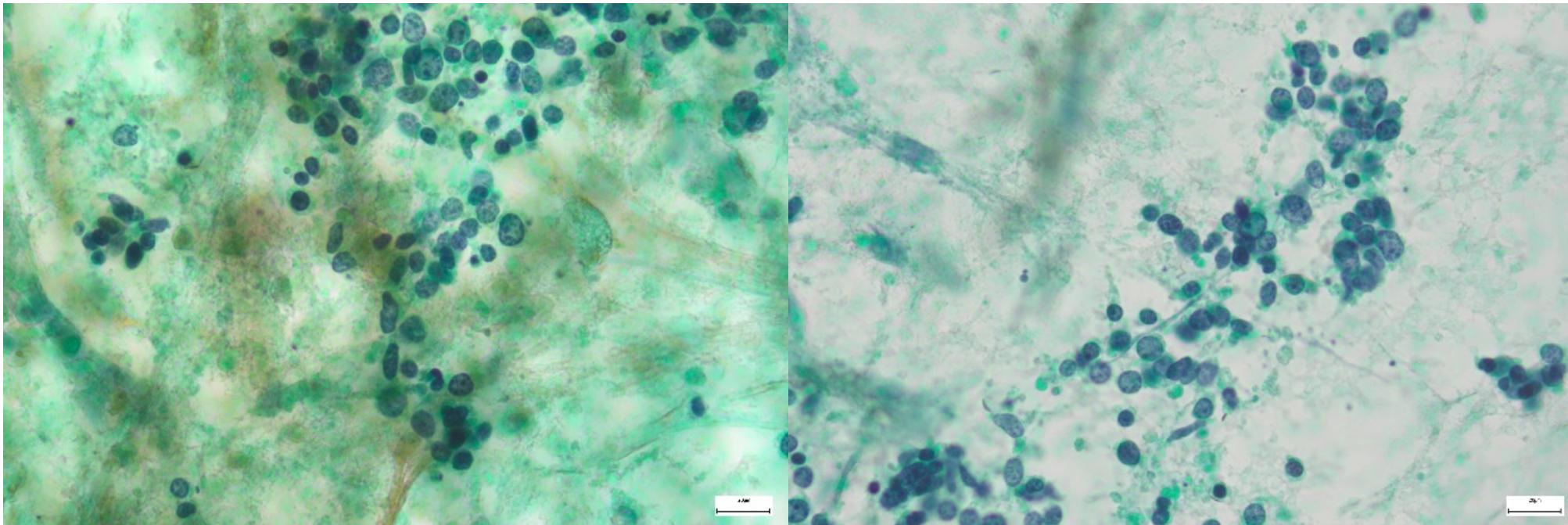
写真 : 4-1 Pap ×40 4-2 Pap ×40



## 設問4

1. 扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



壊死性背景

腫瘍細胞が疎な結合をして出現

裸核状の胞体の乏しい細胞

数個の腫瘍細胞が圧排し合うように結合した配列

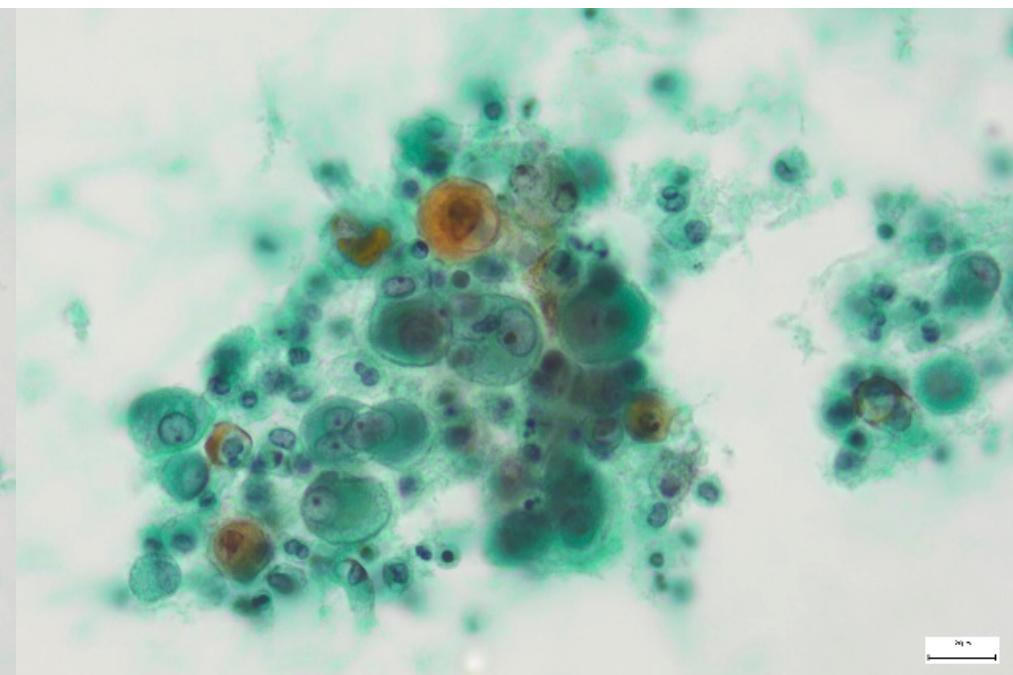
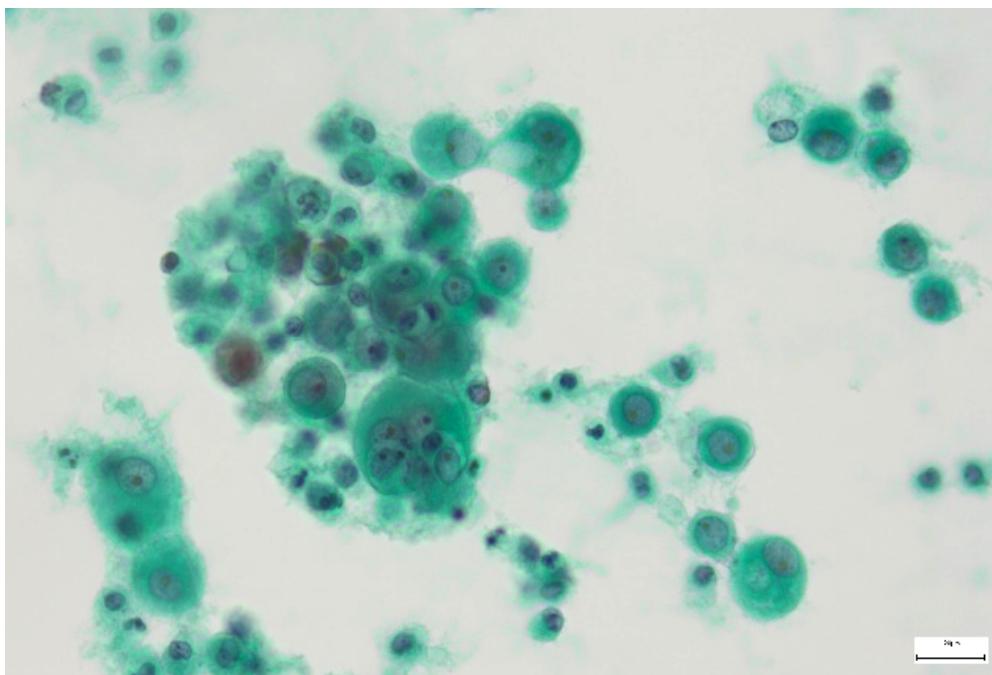
## 設問5

年齢・性別 : 80歳代 女性

検体 : 胸水

臨床所見 : 胸水貯留

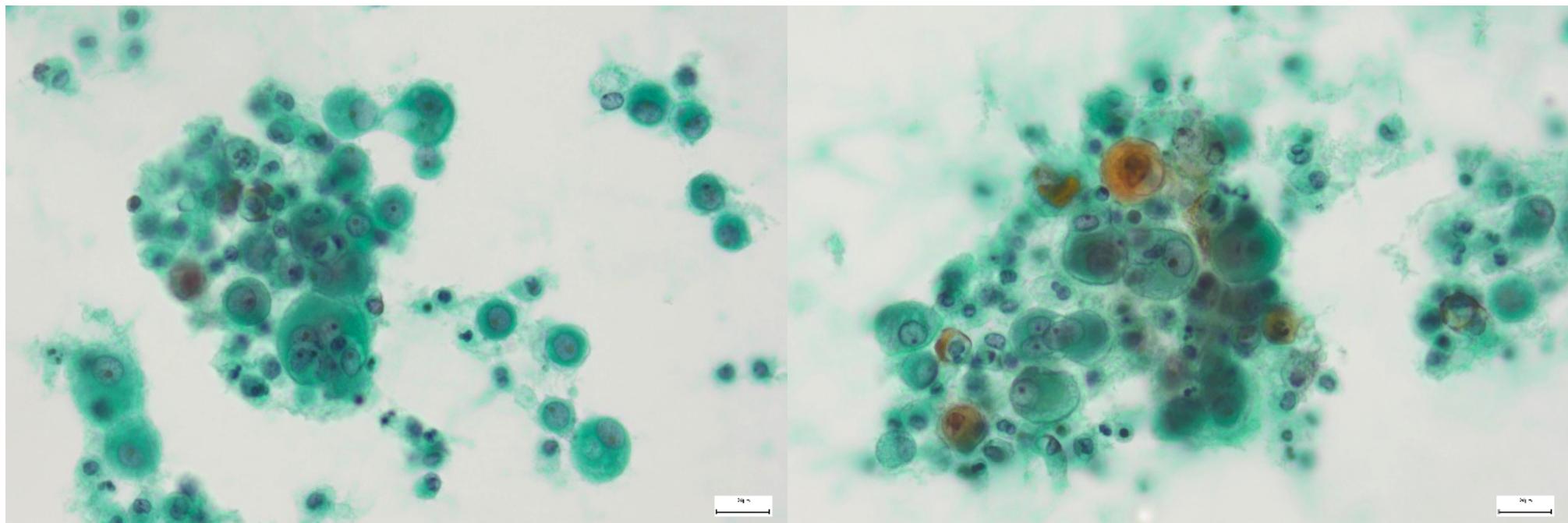
写真 : 5-1 Pap ×40 5-2 Pap ×40



## 設問5

1. 反応性中皮細胞
2. 悪性中皮腫
3. 腺癌
4. 悪性リンパ腫
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



ライトグリーン好性、重厚感がある細胞質  
核は類円形、核小体明瞭  
3核以上の多核細胞やhump様細胞質突起  
オレンジG好性細胞

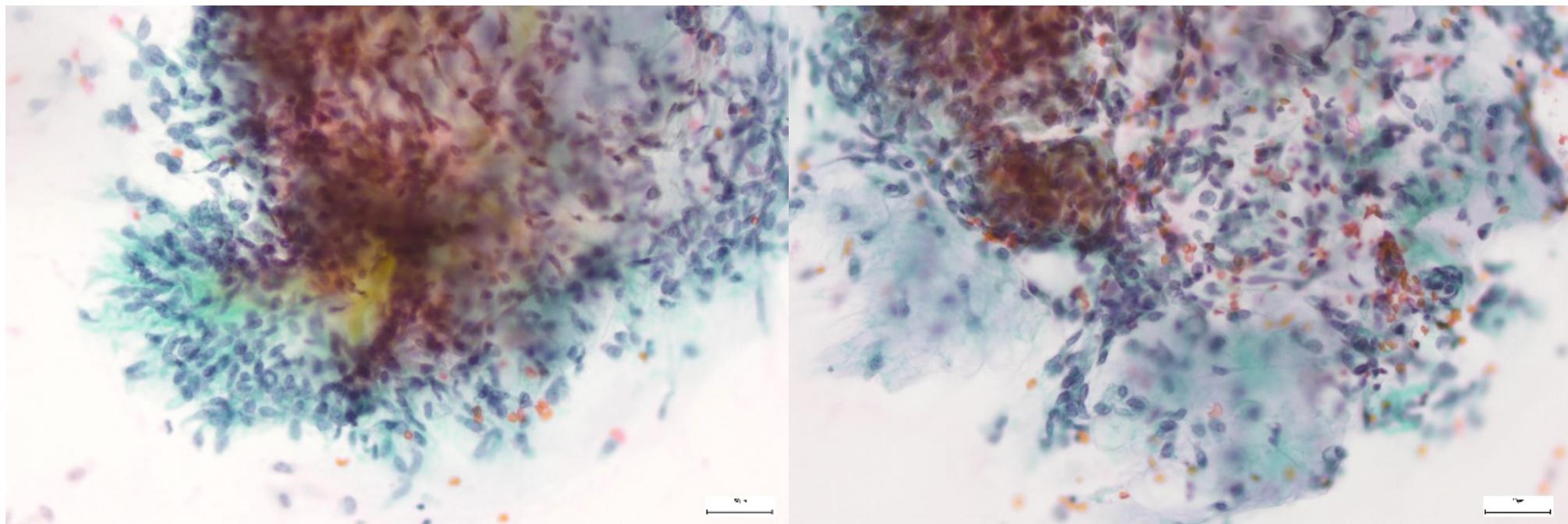
## 設問6

年齢・性別 : 80歳代 女性

検体 : 耳下腺穿刺吸引

臨床所見 : 耳下腺腫瘍

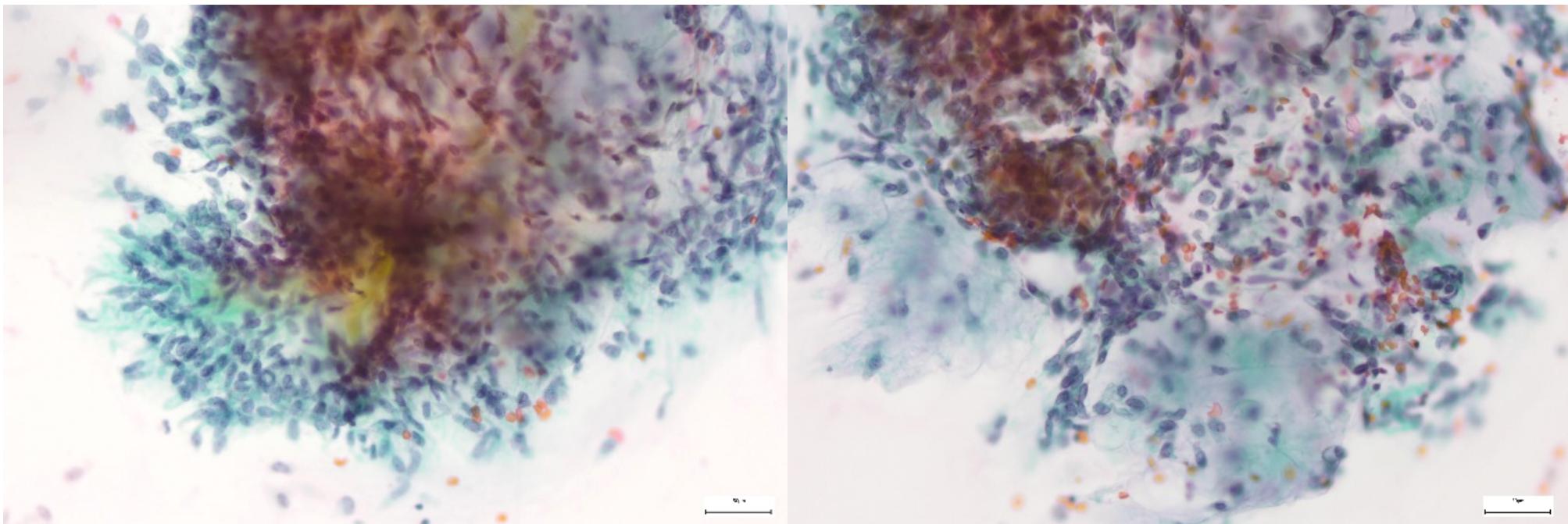
写真 : 6-1 Pap ×20 6-2 Pap ×20



## 設問6

1. 多形腺腫 2. ワルチン腫瘍 3. 基底細胞腺腫 4. 腺房細胞癌 5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



上皮様結合を示す腺細胞と筋上皮細胞が粘液を伴ってほつれ落ちる  
両成分とも異型に乏しい

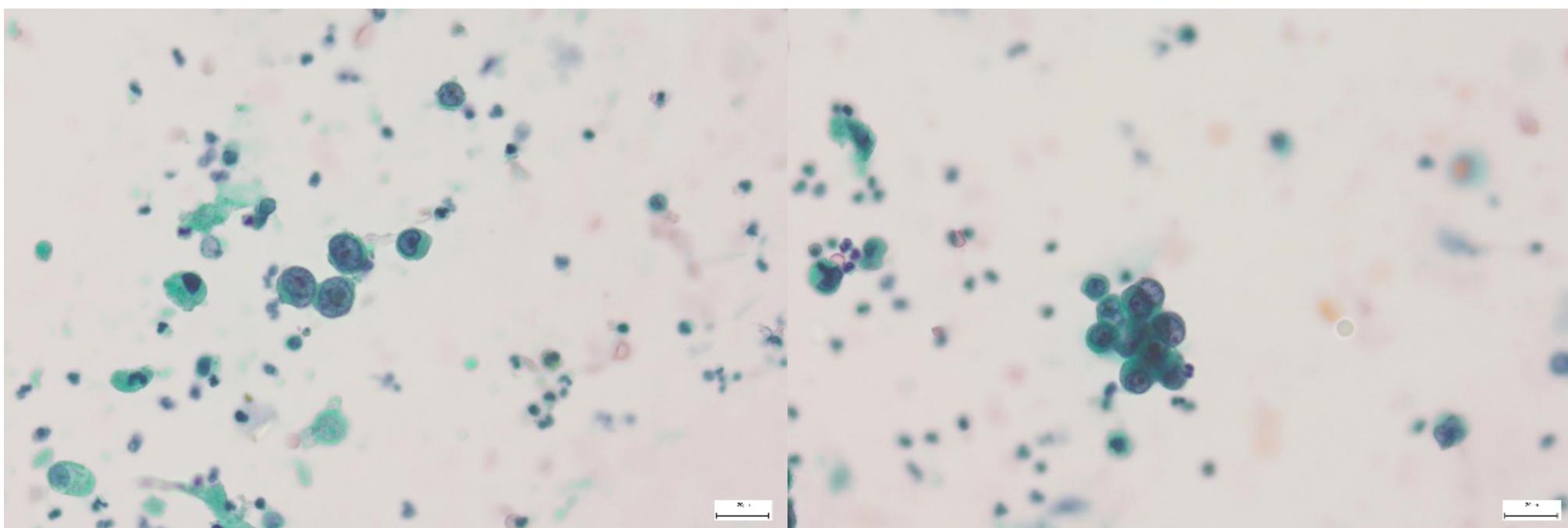
## 設問7

年齢・性別 : 70歳代 男性

検体 : 右分腎尿(カテーテル尿)

臨床所見 : 右下部尿管に陰影欠損あり

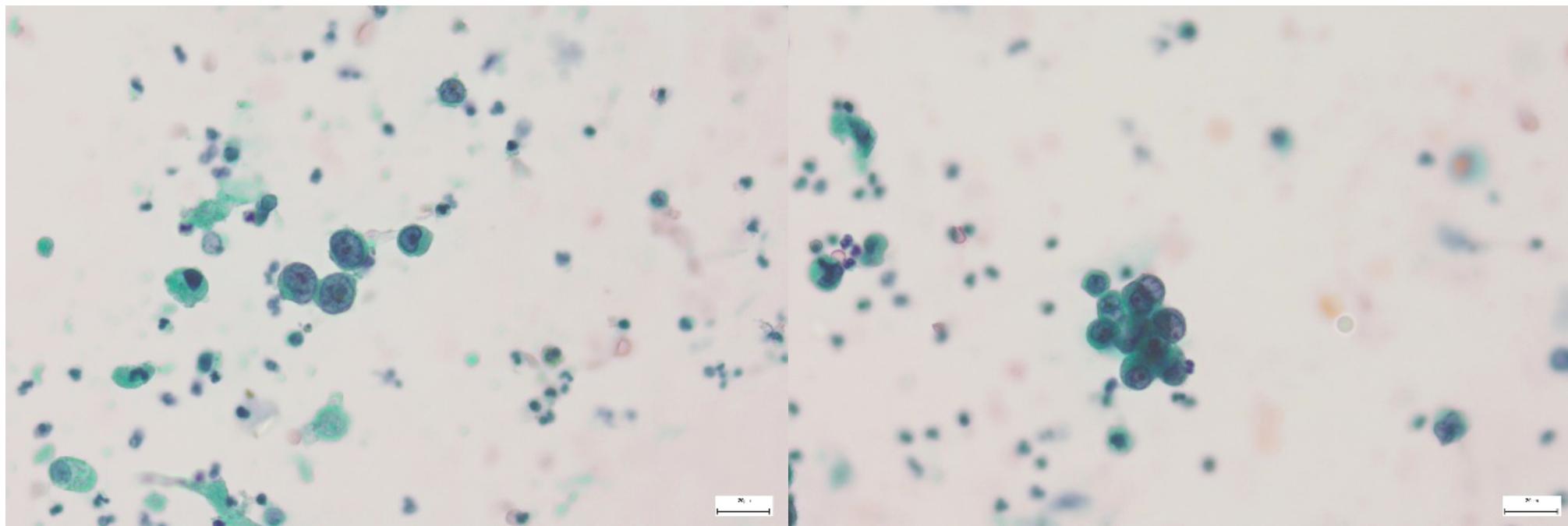
写真 : 7-1 Pap ×40 7-2 Pap ×40



## 設問7

1. 良性尿路上皮細胞
2. ウィルス感染細胞
3. 尿路上皮癌
4. 腎細胞癌
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



NC比が高く、核形不整、粗大顆粒状のクロマチン  
核の位置が偏在傾向

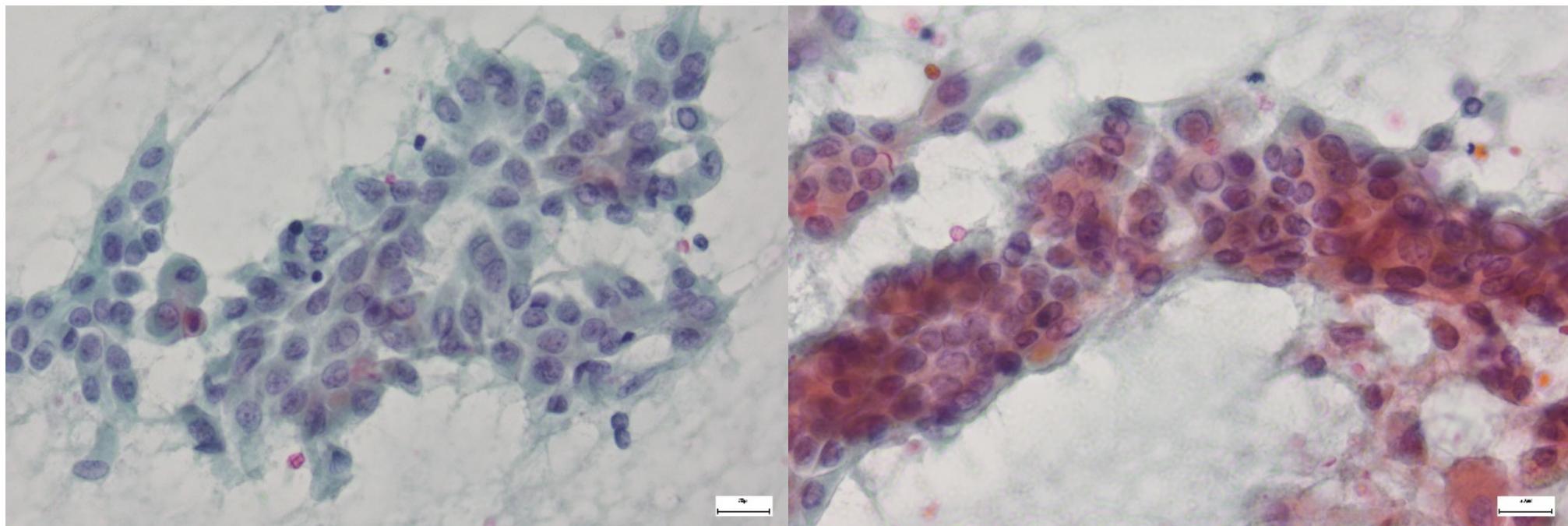
## 設問8

年齢・性別 : 60歳代 女性

検体 : 甲状腺穿刺吸引

臨床所見 : 甲状腺腫瘤

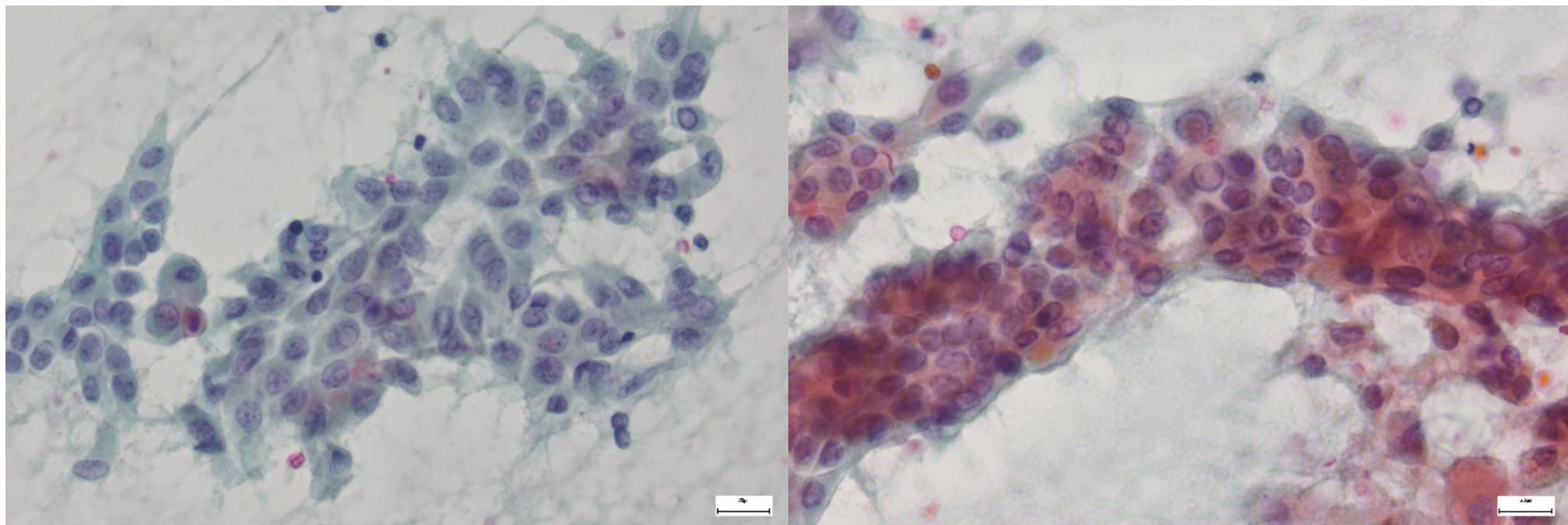
写真 : 8-1 Pap ×40 8-2 Pap ×40



## 設問8

1. 濾胞性腫瘍
2. 乳頭癌
3. 未分化癌
4. 髓様癌
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



シート状集塊  
核の肥大、核密度たかく重積もみられる  
核溝、核内細胞質封入体、すりガラス状クロマチン

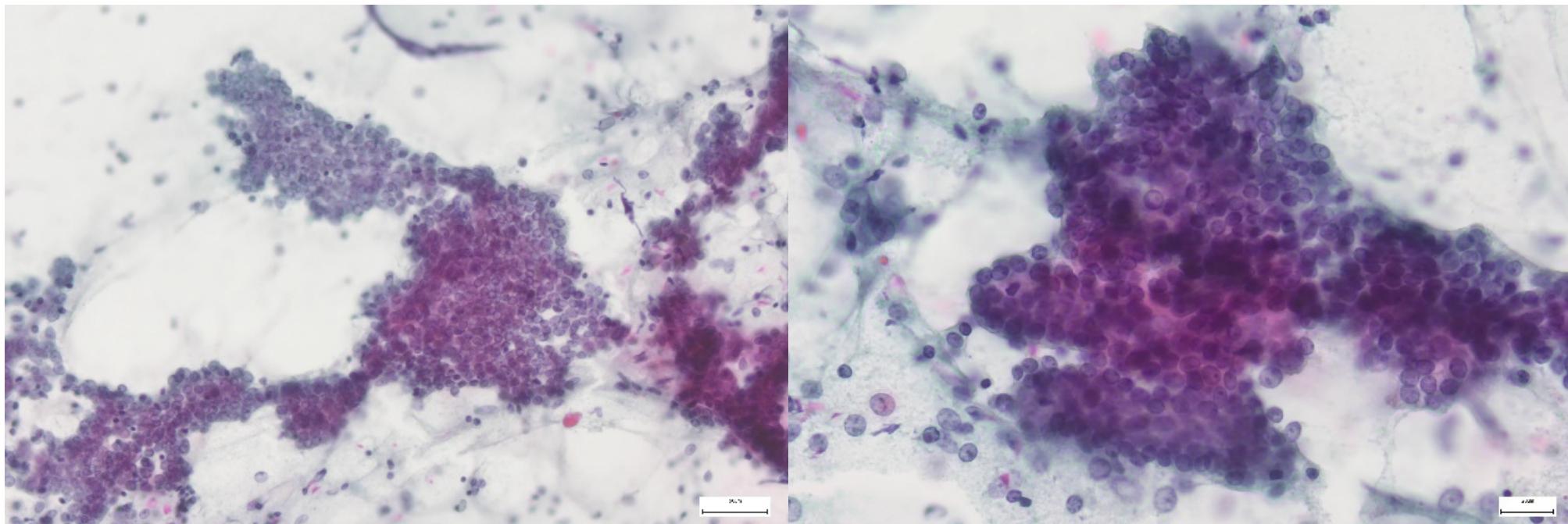
## 設問9

年齢・性別:60歳代女性

検体:乳腺穿刺吸引

臨床所見:乳腺腫瘤

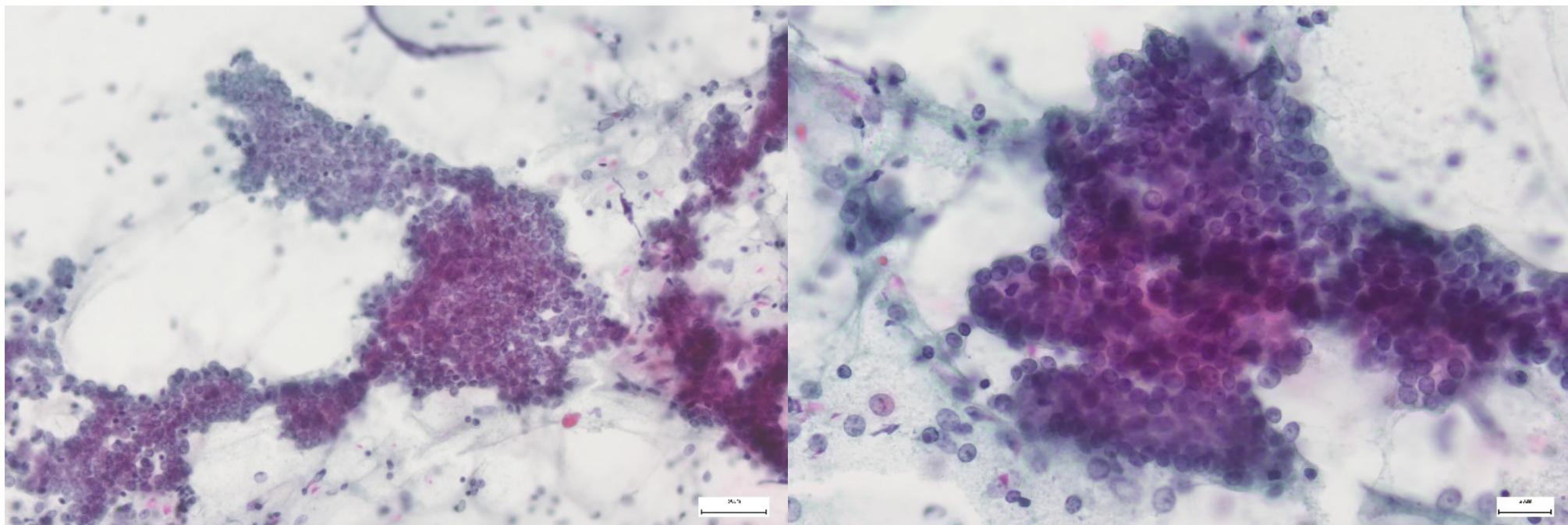
写真:9-1 Pap ×20 9-2 Pap ×40



## 設問9

1. 線維腺腫 2. 硬癌 3. 粘液癌 4. 悪性葉状腫瘍 5. その他

正解率: 95% (21/22施設)



シート状に核のそろった乳管上皮細胞集塊  
集塊内ないし周辺には濃縮核からなる筋上皮細胞が混在  
乳管上皮の異型のない核所見と筋上皮細胞の二相性

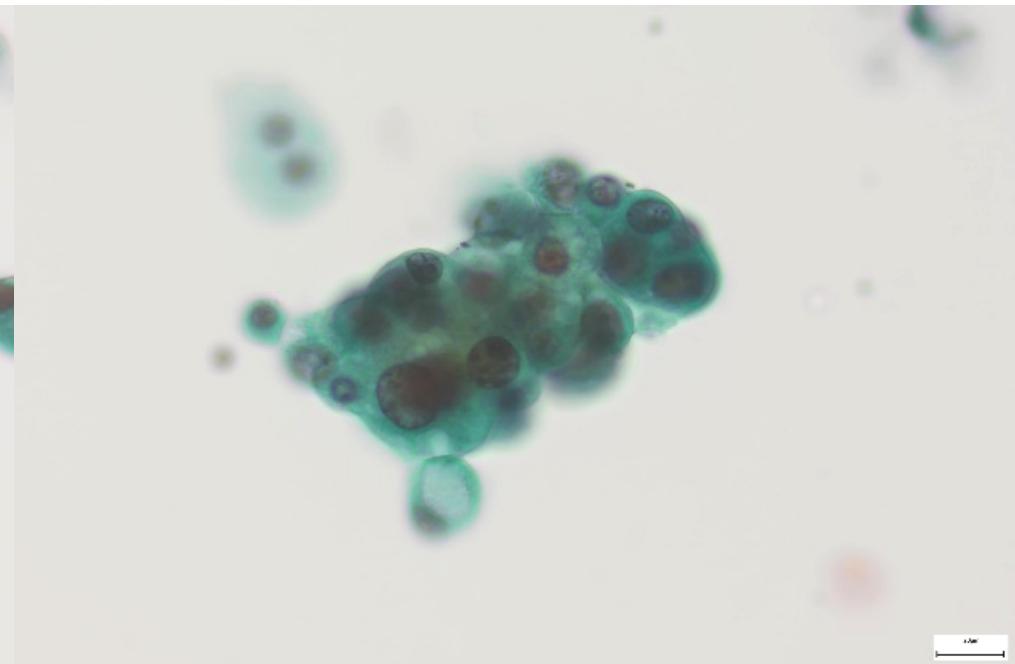
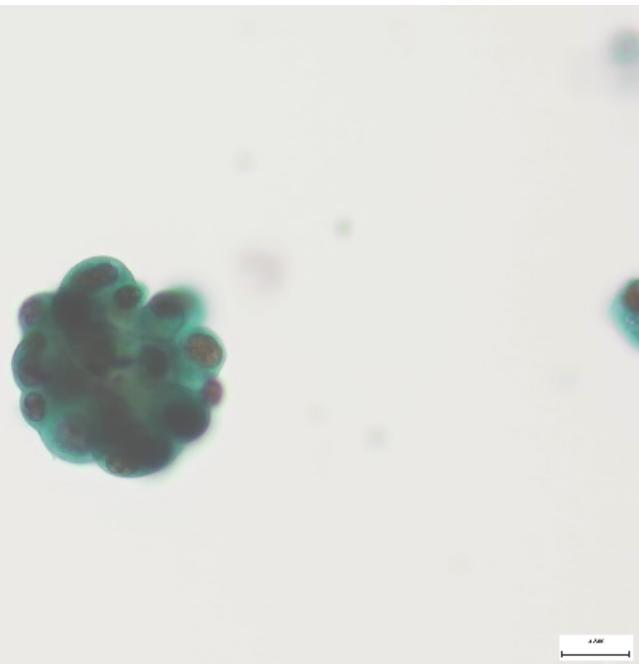
## 設問10

年齢・性別 : 80歳代 男性

検体 : 頸部リンパ節穿刺吸引

臨床所見 : リンパ節腫脹、肺癌転移疑い

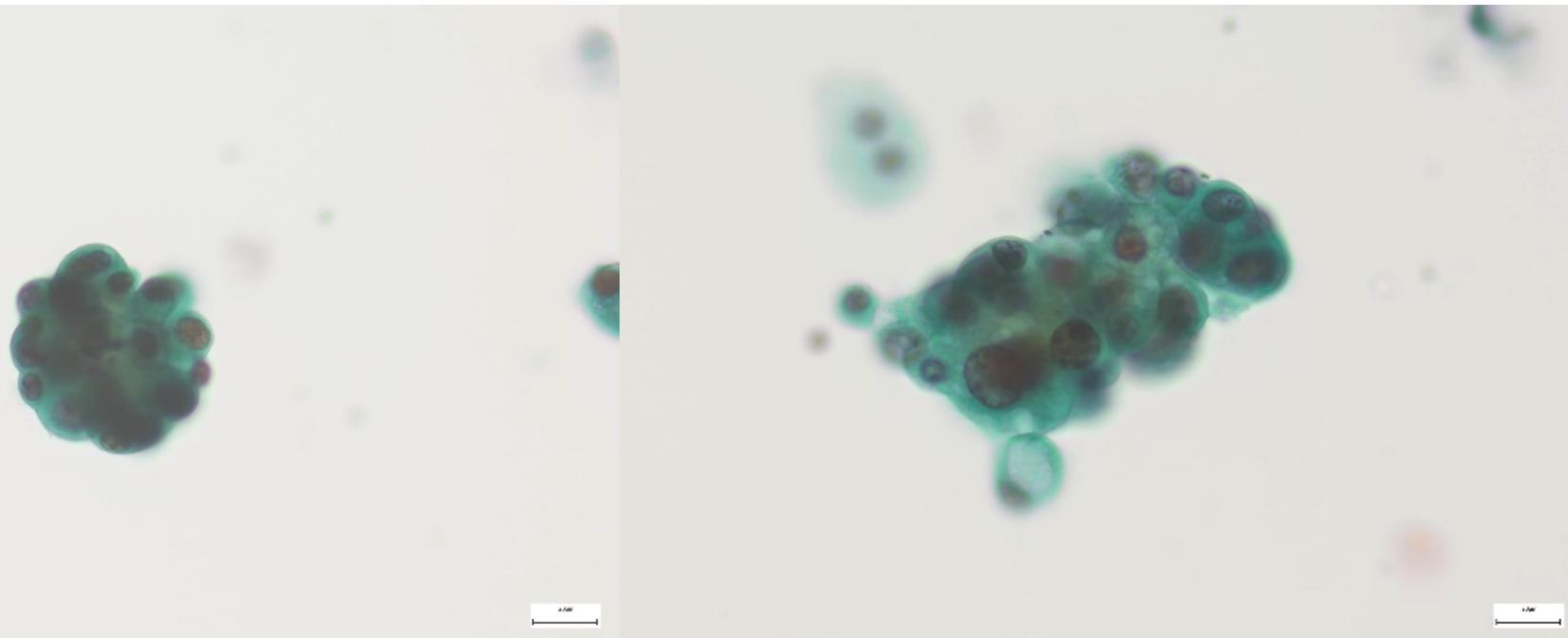
写真 : 10-1 Pap ×40 10-2 Pap ×40



## 設問10

1. 反応性リンパ節炎
2. 転移性腺癌
3. 転移性扁平上皮癌
4. 悪性リンパ腫
5. その他

正解率: 100% (22/22施設)



重積を示す上皮集塊  
核は偏在性、大小不同  
泡沢状細胞質、粘液の含有

# 結果

## 正解率(%)

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
是正前	100	100	100	100	100	100	100	100	95	100
最終	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

最終正解率は100%であり良好な結果であった